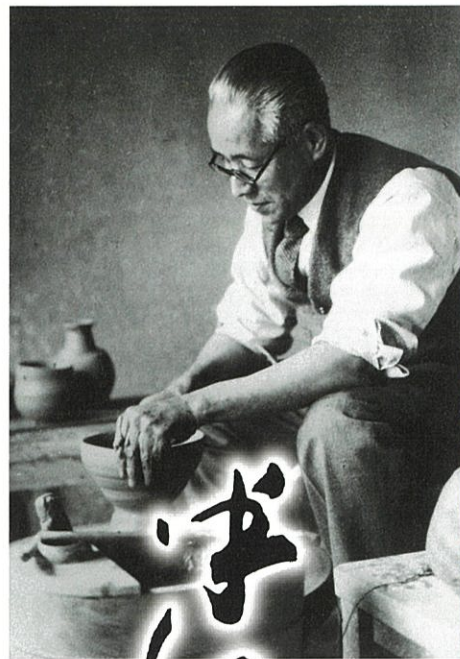


川喜田 半泥子 の すべての

かわきたはんでいし



なか
なす
半ば泥みて半ば泥まざる

半泥子

平成22年4月3日(土)ー5月30日(日)
山口県立萩美術館・浦上記念館

休館日 ● 月曜日 (ただし5月3日〔月〕は開館します)

開館時間 ● 午前9時ー午後5時 (入館は午後4時30分まで)

観覧料 ● 一般800(600)円 70歳以上の方・学生600(450)円

(内は前売りおよび20名以上の団体料金です。なお、18歳以下の方、および高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在学する生徒は無料です。)
※会期中(4月27日から)、一部展示替えがあります。

主 催 ● 川喜田半泥子のすべて「萩展実行委員会(山口県立萩美術館・浦上記念館、朝日新聞社、yab山口朝日放送) 石水博物館

後 援 ● 萩市

協 力 ● エフエム山口

企画協力 ● 耕人社

展覧会のお問い合わせ ● 山口県立萩美術館・浦上記念館 〒758-0074 萩市平安古586-11 電話0838-2412400

書「波和遊(How are You?)」(部分) 1960年頃 石水博物館蔵
粉引茶碗 銘「雪の壱」(部分) 千歳山窯 石水博物館蔵
粉引茶碗 銘「たつた川」(部分) 広永窯 石水博物館蔵
焼締茶碗 銘「かるめ糖」(部分) 個人蔵
黒織部茶碗 銘「富貴」(部分) 千歳山窯 1940年頃 個人蔵
半泥子設計「紅梅閣(三重県津市)」



半泥子自画像 個人蔵



かわきたはんていし

川喜田半泥子のすべて

近代陶芸史に大きな足跡を残した川喜田半泥子(本名は久太夫政令、1878～1963)は、三重県津市の素封家で、東京・日本橋大伝馬町に寛永年間から続く木綿問屋に生まれました。家業を継ぎ、百五銀行頭取や数々の企業の要職を歴任して財界で活躍する多忙な日常のうちに、陶芸、絵画、書、木版画、写真、建築、俳句などの各方面にその芸術的才能を発揮しました。とりわけ50歳を過ぎて本格化した作陶は破格であり、趣味の域をはるかに超え、当時沈滞していた陶芸界に清風を吹き込みました。茶の湯への深い理解にもとづく、ユーモラスかつ高遠な思念が込められた作品は、ひとつひとつが大宇宙とも呼べるふくよかさを持っていました。半泥子の作品やその芸術・文化に対する鋭い着眼点と広い知識は、交流を重ねた荒川豊藏や金重陶陽、三輪休和、三輪壽雪らをはじめとする若き陶芸家たちに強く影響し、昭和における陶芸復興の礎ともなりました。また半泥子は文化事業の優れた支援者でもあり、地域振興や文化事業も手がけ、私財を投じて三重県下初の総合文化施設となる財団法人石水会館を創設しています。

あくまで素人としての創作活動に徹した半泥子の作品は、その幅広い交友関係に贈られて愛蔵されてきました。それゆえこれまででは、その名声に比して、まとまって作品を鑑賞する機会に恵まれてきませんでした。本展では半泥子没後、同財団を母体に1975年より登録博物館として活動をはじめ、近年遺族からの寄贈を受けた石水博物館の全面的な協力を得て、陶芸、書画のほか建築、写真、俳句や関連資料などにも触れて半泥子芸術の全貌に迫ります。半泥子が生み出した芸術の世界を存分にお楽しみください。

■記念講演会① (2010年度第1回美術講座)
「川喜田半泥子の陶芸」
日時●4月10日(土)13:30-15:00
講師●榎本 徹 氏(岐阜県現代陶芸美術館長)
※聴講無料(定員80名、当日受付先着順)

■記念講演会②
「半泥子芸術の魅力」
日時●4月17日(土)13:30-15:00
講師●山名 重樹 氏
※聴講無料(定員80名、当日受付先着順)

■半泥子の茶碗による記念呈茶席
呈茶 茶道裏千家淡交会萩支部
日時●4月17日(土)、18日(日)
11:00、13:00、15:00

呈茶 表千家千秋会
日時●4月24日(土)、25日(日)
11:00、13:00、15:00
※一服500円(ただし、別途観覧料が必要です)
※各回24名(6名×4席、受付先着順です。)

■ギャラリーツアー
(担当学芸員による展覧会ガイド)
毎週日曜日の11:00-12:00
参加無料(観覧券必要、定員なし)

- 1 書「波と遊(How are You?)」1960年頃 石水博物館蔵
- 2 黒織部茶碗 銘「富貴」千歳山窯 1940年頃 個人蔵
- 3 井戸手茶碗 銘「渚」千歳山窯 1942年頃 個人蔵
- 4 焼締茶碗 銘「かるめ壺」個人蔵
- 5 粉引茶碗 銘「雪の曙」千歳山窯 石水博物館蔵
- 6 井戸手茶碗 銘「ざざれ石」千歳山窯 1942年頃 個人蔵
- 7 粉引茶碗 銘「たつた川」広永窯 石水博物館蔵
- 8 伊賀水指 銘「悠袋」千歳山窯 1940年 石水博物館蔵
- 9 半泥子自画像 個人蔵



[同時開催の普通展示] (別途《普通展示》観覧料金が必要です)

- 陶 芸「半泥子と休和・壽雪」——— 4月3日(土)～5月30日(日)
- 浮世絵「春景色」——— 4月3日(土)～4月25日(日)
- 浮世絵「月岡芳年 新形三十六怪撰」—— 4月27日(火)～5月30日(日)

[萩地域の主なイベント]

- 萩・春の魚祭り 4月11日(日)／道の駅「萩しーまーと」ほか 【問】0838-24-4937(同左)
- 萩焼まつり 5月1日(土)～5日(祝)／萩市民体育館 【問】0838-25-3333(萩商工会議所)
- 萩・大茶会 5月3日(祝)～4日(休)／萩城跡指月公園ほか 【問】0838-25-3139(萩市観光課)
- 浜崎伝建おたから博物館 5月23日(日)／萩市浜崎地区 【問】0838-25-3238(萩市まちなみ対策課)

■交通アクセス

- 新幹線 ● [上り]博多→小倉→新山口
[下り]新大阪→広島→新山口
- 山陽本線 ● [上り]下関→新山口
[下り]岩国→柳井港→徳山→新山口
- バス ● 新山口駅から、防長交通「特急はぎ号」65分・
中国JRBバス「特急はぎ号(湯田温泉・山口駅経由)」83分、
ともに萩バスセンター下車、徒歩15分
- 山陰線 ● [上り]下関→長門市→萩萩 [下り]松江→益田→東萩
東萩駅から、タクシー7分/萩循環まあるバス30分/
徒歩30分
- 航空機 ● ①羽田→山口宇部(8往復)
山口宇部空港から、萩近鉄タクシー「乗合タクシー」90分
(利用前日まで要予約、電話 0838-22-0924)
②羽田/大阪→萩・石見(直行便各1往復)
萩・石見空港から、直行バス75分
(萩バスセンター下車、徒歩15分)
- 自動車 ● 中国自動車道 小郡I.C./美祿I.C.各50分



山口県立萩美術館・浦上記念館
HAGI URUGAMI MUSEUM
〒758-0074 山口県萩市平安古586-1
TEL0838-24-2400 FAX0838-24-2401
URL <http://www.hum.pref.yamaguchi.jp/>